



おおひら ふみ お
大平 文雄

質問 QUESTION

ICT教育のメリットの最適化と、デメリットを克服する方策は

回答 ANSWER

教職員の指導力を育成して対応します

「教育長」

質問

「ICT教育」とは、教育現場で活用される情報通信技術そのものの総称です。その中で、1人1台端末は、もはや令和の時代における学校の「スタンダード」であり、特別なことではありません。もちろん、

ICT教育にはメリット、デメリットがあり、メリットとして、

- ① わかりやすい授業
- ② 学習の効率化
- ③ 校務の効率化
- ④ 個別学習・協働学習の両立
- ⑤ 情報活用能力の向上

デメリットとして、

- ① 誹謗・中傷などのインターネットをめぐる問題
- ② 考える力の低下
- ③ 書く力の低下

などがあげられます。

5つのメリットと3つのデメリットを述べましたが、文部科学大臣は「ICT環境の整備は手段であり目的ではない」と述べています。

最近、各自治体では情報化のCIO (Chief information officer) 最高情報責任者) を置くケースが多くなっています。この

CIOを学校、教育委員会に配置し、教員の授業支援などを行う人材として「ICT支援員」を文部科学省は4校に1人の導入を提言しています。タブレット端末は資金力があれば導入できます。しかし、ソフト面は一朝一夕には向上させることは困難です。

そこで、ICT教育のメリットを最適化し、デメリットを克服する方策をCIOの導入を含めお伺いします。

回答

メリットの最適化は、

① ICT機器やソフトの機能と、児童生徒の学びの意識を連動させ、多種多様な活動の中から、学びの意識に沿った「最適な一連の学習の流れ」に合う学習内容を組み合わせることで授業づくりをしていきます。

② 教職員の勤務に関してはすでに「統合型校務学習システム」を導入して推進しています。デメリットの克服は、

① 平成27年度「安八町スクールサミット」で、児童生徒会役員、PTA役員、教職員代表などが一体となって「安八町ジュニアネットルール」(自分を守る・仲間を守る・健康を守るためのネット利用のルール)を作成しました。今後も保護者と連携して児童生徒を守っていきます。

② デメリットはICT機器のメリットとなる機能・特性の裏返しであることを認識し、カリキュラムマネジメントを推進するよう指導します。「CIO」の導入は、町教職員研修部会の「情報部会」を活用し、部会の顧問校長をトップとして推進する体制をとっています。



導入予定のタブレット端末 (写真はノートパソコンとしての使用時)